

株式会社日商自動車（千葉県事業承継・引継ぎ支援センター）

ノンネームデータベースを活用し成約した第三者承継

基本情報

相談企業：株式会社日商自動車（香取郡多古町）	承継方法：株式譲渡
譲渡者：株式会社コスモバス（親会社）	引継ぎ期間：2024年6月～2024年12月
譲受者：F Aコンサルティング株式会社	対応方針：三次対応
種別：第三者	取扱：公表可

相談企業の概要

- ・譲渡側である株式会社日商自動車は、平成3年創業の香取郡多古町に所在する貸切旅客自動車運送業者。従業員は全体で8名、うちドライバーが6名、運行管理者1名、事務1名の構成となっている。
- ・大型観光バスからマイクロバスまで多様なニーズに対応できる体制を築いており、売上は地元市町村のスクールバスの運営50%、成田空港周辺の旅行会社からのインバウンド需要50%といった構成となっている。

相談までの経緯

- ・株式会社日商自動車の親会社である株式会社コスモバスは、旅客自動車等関連する子会社を複数運営しているが、インフレへの対応やコロナ禍の影響、人手不足等により計画どおりの運営ができず、事業の選択と集中のため子会社の譲渡・再編を含めて経営体制強化に取り組んでいたところ、当センターのホームページや更に知人を通じて当センターの支援内容を知り相談に至った。

センターの支援内容とその効果

- ・当センターからは全国のセンター登録のデータを活用してニーズに合う譲受先を探索することとし、複数の譲受希望企業を紹介し数社とトップ面談を実施。その中の1社が医療ツーリズム事業への進出を検討していたF Aコンサルティング株式会社であった。両社は面談後、協議を重ねる中で当センター職員の立会いのもと令和6年11月に事業承継合意契約書に合意し、最終的には同年12月18日付けで株式売買契約書の締結及びクロージングに至った。
- ・譲渡側は、事業存続により得意先との取引継続と従業員の雇用維持のほか、クロージング日に金融機関借入金の一括返済もできた。譲受側も新たな事業領域への進出により業容拡大が期待できるなど、共に有意義なM&Aが成立した。



中央左側：譲渡側の親会社の代表取締役の米井文学氏、中央右側：譲受側の会長兼オーナーの古川令治氏



株式会社日商自動車 事務所外観



保有する大型観光バスの1台